



湾岸・アラビア半島地域ニュース

アフガニスタン：復興支援国際会議のフランスでの開催 (1月27-28日付現地紙)

1. 12月27日、スパンタ外相は記者会見で、アフガニスタン政府のこれまでの業績は、本年6月にパリで開催される国際会議において評価されるとし、「(アフガニスタン復興支援)パリ会議では、開発、治安及びテロ対策と復興に関するアフガニスタン政府の役割と国際社会の約束について話し合われる予定である」と述べた。(パジクワ通信)
2. アフガン復興のための国際社会が拠出した何十億ドルものお金が政府の失敗で利用されていないと大多数のアフガン人が批判していることに対して、スパンタ外相は、アフガニスタン政府はパリ会議でドナー国に対して、アフガニスタン政府の予算を通じて援助を行うことを求めるであろうと述べた。(アウトルック・アフガニスタン紙)
3. 国際社会は、2002年のアフガニスタン復興支援東京会議以降、160億ドル以上のプレッジを行っている。2006年1月のロンドン会議では、国際社会は45億ドルをプレッジする傍ら、アフガニスタン政府を通じてのものは、拠出の僅か20%でしかなかった。フランス政府の支援のもと、アフガニスタンへの国際社会の支援の成果についてレビューを行い、また同国の再建に向けた約束を新たにすべく、パリ国際会議は6月の早い時期に行われる。(同紙)